

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		050202 コミュニティ施設(直営)管理運営事業		担当部課	部課コード	050200	2998-9083		
事業コード		050202		地域づくり推進課					
開始年度		昭和59 年度		終了年度	年度				
グループ		狭山ヶ丘・新所沢コミュニティセンター							
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加			
	分野別計画・指針					根拠法令			
	関連・類似事業	公民館施設提供事業(各まちづくりセンター)		生涯学習推進センター施設提供事業(生涯学習推進センター)		所沢市コミュニティセンター条例 所沢市学習等供用施設条例			
	総合計画の体系	章	コミュニティ	節	地域コミュニティ	基本方針	地域コミュニティの醸成		
事業開始の背景	地域の主体的・自主的な活動を支援するため、地域コミュニティ活動の拠点としてコミュニティセンターの整備が必要となった。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	コミュニティセンターの利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、施設の維持管理を行い、地域コミュニティの活性化を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	343,067	人			
	コミュニティセンター及び施設利用者			平成 27 年度	343,321	人			
事業の具体的な内容及び実施方法	市民による自発的なサークル活動等に対し、集会施設を貸し出しを行い、コミュニティの醸成を図る。施設に関しては、老朽化が進んでいるため、利用者の利便性・安全性を考慮し、修繕を行う。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			64,810	47,362	66,537			
	決算(見込み含む)			55,730	42,471				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	2.57 人	22,413	2.38 人	20,611				
	事業費合計			78,143	63,082				
	財源内訳	一般財源	75,564	60,485	42,921				
国・県支出金	0								
その他	2,579	2,597	23,616						
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	年間施設利用可能回数	利用可能回数	回	18,153	18,417	17,739	18,576	
		施設利用回数	年間延べ利用回数	回	10,778	10,733	10,900	12,074	
		施設利用人数	年間延べ利用者数	人	109,676	110,853	111,500	128,793	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	年間施設稼働率	年間利用回数 ÷ 年間施設利用可能回数	%	目標値	80	80	62	65
				%	実績	59	58	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	74	73	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	新所沢コミュニティセンターでは、放送設備修繕、LED照明への一部切替など、狭山ヶ丘コミュニティセンターでは、西側窓に遮熱性フィルム貼付、障害者用駐車場の乗降スペース確保、放置自転車の撤去、LED照明への一部切替などを行い、施設内環境の改善を図った。				利用者の高齢化により、日中と比べると夜間の利用が少ない。今後、ホームページを中心とした広報により、会議室利用に関して、より詳細な情報提供に努め、利用件数の増加に繋げる必要がある。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	利用者が安全かつ効率的に利用できるよう、施設管理を行っていく。また、施設利用者に対して、公共施設予約システムの利用を推奨し、事務の軽減化を図っていく。			
	評価	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	狭山ヶ丘、新所沢共に老朽化が進んでいるため、利用者の安全を鑑み、修繕を行っていく必要があるため。				
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	両施設とも老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行っており、狭山ヶ丘コミュニティセンターでは老朽化したエレベーターを修繕計画に基づき、改修工事を行う。				両施設とも老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行うとともに、公共施設マネジメント方針の観点からも今後の施設のあり方・運営方針についても検討していく。				
	評価日	H28.7.20	評価者職氏名	地域づくり推進課長 千葉 裕之					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動			規制を受ける環境法令等	緊急事態	